

# まちづくりと連携した駐車場施策ガイドラインについて

---

国土交通省都市局  
街路交通施設課  
令和4年12月15日

## ■更新の考え方

- ウォークابل施策をはじめ、最近の動向をふまえてガイドラインを時点更新。
- 「基礎編」と「実践編—調査・分析」を統合し、構成を見直し。（実践編は巻末に資料編として掲載）
- 本文中の取組事例は、まとめて巻末に参考資料として掲載し、ガイドラインの内容を明確化。
- 駐車場法令に基づく事項（必須）、推奨事項、自治体の独自事項（参考）等が分かるように整理。

## ■主な更新内容

- 全体的な時点更新
- 以下の観点を追加
  - ・ウォークابل、駐車場法の特例措置（R2都再法改正等）
  - ・バリアフリー（各種法令の整理、好事例等）
  - ・自動二輪等（自転車法と駐車場法の整理、地域の実情に応じた対策・好事例等）
  - ・荷さばき、観光バス（支援制度、好事例等）
  - ・GX、DXへの対応（EV車への対応、デジタル技術の活用にかかる好事例等）
  - ・エリアマネジメント（地域ルールの解説、地区マネジメント制度の紹介等）
  - ・その他（自動運転、海外事例等）

## 1. 駐車場施策に関する現状と課題

1-1 駐車場施策に関する現状

1-2 社会情勢の変化と駐車場施策を取り巻く課題

## 2. まちづくりと連携した駐車場施策の検討のポイント

2-1 本ガイドラインの対象とする地区について

2-2 都市が目指すべき将来像の検討

2-3 駐車場に関する現況把握

2-4 具体的な施策の検討

## 3. まちづくりと連携した駐車場施策の進め方

3-1 供給量適正化の手法

3-2 配置の適正化の手法

## 4. 政策課題に対応した駐車場施策

# 1. 駐車場施策に関する現状と課題

## 1-1 駐車場施策に関する現状

## 1-2 社会情勢の変化と駐車場施策を取り巻く課題

### ①供給量に関する課題

- ・市街地の空洞化、自動車需要の誘発

### ②配置に関する課題

- ・街並みの分断、歩行者との錯綜、うろつき交通、渋滞

### ③社会情勢の変化を踏まえた課題

- ・人中心の空間づくり(ウォーカブル、バリアフリー)
- ・荷さばき
- ・観光
- ・自動二輪
- ・新たなモビリティの台頭(モビリティの多様化)
- ・GX・DXへの対応 等

## 2. まちづくりと連携した駐車場施策の検討のポイント

### 2-1 本ガイドラインの対象とする地区について

- ・都市の総合交通体系や土地利用状況を考慮して検討範囲を決定
- ・既存の駐車場整備地区や滞在性快適性等向上区域等との整合

### 2-2 都市が目指すべき将来像の検討

#### ①都市が目指すべき将来像の検討

- ・将来像を実現するための総合的な交通体系のあり方と、それを踏まえた駐車場のあり方

#### ②歩行者中心の街路空間を構築すべきエリアの検討

- ・街路の性格付けを踏まえて、人中心の空間づくりを行う範囲を検討

#### ③街路ごとの性格付け

- ・にぎわいを創出する街路、広域道路ネットワークを形成する幹線道路等の整理
- ・土地利用状況や周辺交通インフラ状況を踏まえた性格付けの整理

#### ④多角的な状況分析を行う上で必要となる調査・分析

- ・駐車場の需給状況だけでなく、土地利用、交通状況、社会経済動向等を広く調査・分析

## 2.まちづくりと連携した駐車場施策の検討のポイント

### 2-2 都市が目指すべき将来像の検討(続き)

#### ⑤駐車場の配置の適正化

- ・幹線道路沿いにフリンジパーキング設置、にぎわいを創出するエリアの駐車場集約等

#### ⑥歩行者中心の街路空間の構築に向けた様々なアプローチ

- ・公民でビジョンを共有して連携しながら歩行者中心の街路を構築

#### ⑦駐車場の有用性の検証

- ・配置、規模、機能等の観点から、駐車場として存置すべきか検討

#### ⑧民間駐車場も含めた有用性の検証と土地利用転換・利活用の推進

- ・有用性の検証を踏まえて、必要に応じて土地利用転換を誘導(都市の余白としての活用)

## 2.まちづくりと連携した駐車場施策の検討のポイント

### 2-3 駐車場に関する現況把握

#### ①駐車場の設置状況等の把握

- ・民間駐車場も含めた立地状況、利用状況、料金形態等

#### ②車種ごとの駐車状況の把握

- ・自家用車(カーシェア含)、自動二輪、荷さばき車両、観光バス、新たなモビリティ、自転車等

#### ③多角的な観点からの現況把握

- ・交通現況・将来見直し(PT調査、交通センサス等の活用)
- ・土地利用の状況・開発動向
- ・社会経済動向(人口、高齢化等)
- ・来街者・民間活動の状況等

## 2.まちづくりと連携した駐車場施策の検討のポイント

### 2-4 具体的な施策の検討

#### ①需給バランスの検討

- ・目指すべき都市像を踏まえ、適正な需給バランスを検討

#### ②駐車場の質の向上の検討

- ・車種ごとの需要を踏まえたきめ細やかな施設計画等

#### ③配置の適正化の検討

#### ④駐車場のマネジメントの検討

- ・管理運営、面的コントロール、エリアマネジメント

#### ⑤既存駐車場の見直し

- ・有用性の検証(公民の役割分担も含めて存続・転換を検証、経営マネジメント)
- ・土地利用転換(交通課題がある駐車場や賑わいづくりの支障となる駐車場の転換促進・支援)
- ・利活用の推進

#### ⑥駐車場整備計画等の策定・見直し

- ・駐車場整備計画の策定・見直し時のポイント・流れを解説

## 3. まちづくりと連携した駐車場施策の進め方

### 3-1 供給量適正化の手法

- ①附置義務駐車場の原単位の見直し
- ②条例等の地域独自のルールの策定と運用にあたっての留意事項
- ③特例措置
- ④DXを活用した適切な誘導・効率的な運営

### 3-2 配置の適正化の手法

- ①附置義務の緩和・隔地・集約
- ②立地及び出入口のコントロール
- ③駐車場の再配置(リロケーション)
- ④民間によるまちづくりの取り組みとの連携
- ⑤まちづくりと連携した駐車場の整備を支援する各種制度

## 4. 政策課題に対応した駐車場施策

- ・課題別の対応策を検討(各課題の検討の際の留意事項の整理)
- ・国内・海外の好事例の収集

### <課題の例>

- ①荷さばき(都市内物流)
- ②観光(観光バス、渋滞対策)
- ③多様なモビリティへの対応(自動二輪、電動キックボード等)
- ④バリアフリー
- ⑤GX・DX 等